

あおぞら



医療理念

1. 医療の原点に立った心温まる医療
【Humanism】
2. 高度医療の提供
【High Level】
3. 職員一同連携し仕事を通じての
人間的成長 【High Growth】

目次

年頭挨拶	2
新年のご挨拶	3
第9回 地域連携の会アンケート結果	4
院内 BBQ	5
思いやりの心を大切に	6
医療安全院内研修会を終えて	7
外来週間診療予定表	8

医療法人

年頭挨拶

理事長

大坪 俊夫



あけましておめでとうございます。平成最後の正月を迎えました。私が平成元年4月に光晴会病院で勤務を始め、30年経ったこととなります。その間に私が専門としている透析の世界でも大きな進歩がありました。透析装置がコンピュータ化され、水質浄化が進み、エリスロポイエチンの臨床応用、様々なリン吸着剤の出現、カルシメテックスの開発、シャントPTAの進歩など透析治療の進歩を認め、患者のQOLは改善しています。

一方、一般住民の高齢化、糖尿病患者の増加に伴い、透析患者は大きく増加し、全国で32万人を超えています。透析へ至る患者を減らすために、腎疾患の早期発見、早期治療が重要になっています。近年、日本の医療データベースが開示されるようになり、長崎県の検診結果で高血圧の人が全国的にも多いことが報告されています。長崎人の食生活にも問題があると思われ、食生活の改善、かかりつけ医へ受診し、しっかり治療を行なうことが急務と考えられます。

光晴会病院は地域の皆さん、診療所の先生方、看護師のみなさん、各病院の連携室の方々の支援のおかげで、今日のように成長できたと常々感謝しております。

我々の使命は今後も地域の方々に安全・安心で満足できる医療を提供することであり、それに向かって職員一同邁進していきたいと思えます。

今年もよろしくお願い致します。



新年のご挨拶

病院長

岡田 和也



2019年明けましておめでとうございます。日頃より連携を図って頂いています地域の皆さま方におかれましては健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、免疫のブレーキ役となるタンパク質「PD-1」の発見と免疫チェックポイント阻害薬の開発に関与し続けてきた功績が認められ、京都大学特別教授の本庶 佑先生がノーベル医学生理学賞を受賞しました。この発見により、これまでのがん治療法に「がん免疫療法」という新たな選択肢が加わることになりました。もしかすると、21世紀は「がんが撲滅できる世紀」となり、いかにして健康長寿を全うできるかが今後の課題となるかもしれません。

今年は30年続いた平成という時代が終わり、新しい時代の幕開けが訪れようとしています。来年には東京オリンピック・パラリンピックも控えており、雇用の増加や設備投資などにより大きな経済効果をもたらされると予測されています。その一方で、莫大な開催費用に加え、公共インフラ整備や大会施設の建設などの首都圏集中による地方との格差拡大というデメリットも指摘されています。新しい時代の幕開けとともに開催されるスポーツの祭典に

より、東京都だけでなく日本全体がさらに発展することを期待したいと思います。

1979年長崎市葉山の地に腎臓病・循環器・消化器内科を柱とした内科専門病院として開院した当院も、今年で開院40年を迎えることとなりました。この間、外科や泌尿器科、心臓血管外科、呼吸器科が新設され、腎透析センター・心臓血管センター・糖尿病センターを開設することができました。また、2016年には「地域包括ケア病床」30床を導入致しました。これまで40年にわたり診療し続けることができましたのも、地域の皆様方のご支援の賜物であり感謝申し上げます。

「地域包括ケアシステム」による地域資源をフルに使った総力戦が求められている中で、これまでに培われてきました当院ならではの特徴を生かし、地域において求められている役割を今年も果たしていきたいと考えています。地域完結型の医療に少しでも貢献できるよう努めてまいりたいと思いますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

第9回 地域連携の会 アンケート結果

平成30年11月15日(木)長崎ロイヤルチェスターホテルにて、『第9回地域連携の会』を開催致しました。

日頃お世話になっております地域医療機関の先生方をはじめ地域連携室や訪問看護施設の皆さまなど多数ご参加頂きまことにありがとうございました。

今後もなお一層連携を深め、地域医療に貢献していくことができればと思います。

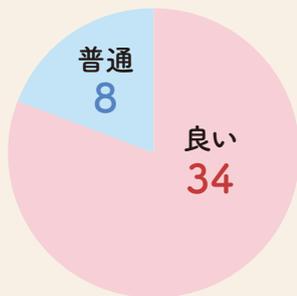
今回参加頂いた皆様をお願い致しましたアンケート結果を掲載させて頂きました。貴重なご意見として今後の参考にさせていただきます。御協力ありがとうございました。



(医師) 勤務先: 病院 (5) 診療所 (30) 未記入 (7) 回収率 91%

問1

問い合わせ、紹介をしていただく際の当院の対応について(複数回答可)



【他の項目】
良いとは言えない...0
その他...0

問2

光晴会病院に紹介をされた患者さんからの当院への評価について(複数回答可)



【他の項目】
看護師その他の職員の態度が悪かった...0
入院設備、病床環境が悪かった...0
その他...0

問3

医師からの連絡状、返事について



【他の項目】
適切な時期に届いていない...0
送られてこないことがある...0

問4

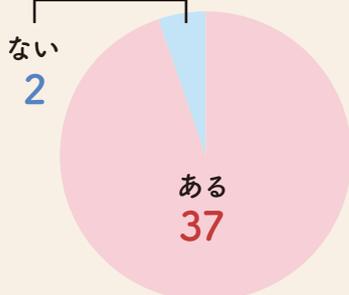
連絡状、返事の記載内容について



【他の項目】
必要な資料、データの添付がない...0

問5

逆紹介について



会場風景



問 6

連絡状、返事等について改めて欲しいこと、要望について

- ・以前は光晴会病院紹介後、他院へ移った場合、以降の動向がわからなくなっていたが、最近はだいぶなくなりました。しかしまだ数症例あることがあります。(極まれですが)

問 7

日頃当院との連携において感じていることや、意見・感想など

- ・急な症例にもいつも対応して頂き、ありがとうございます。
- ・急性期病院の中心としてこれからもよろしくおねがいします。
- ・紹介時、予約がいっぱいと云って断られる事があるが、これはいただけません。→希望に近い日時でお取りしています。
- ・MRIの導入→近隣の病院と協力して対応していきます。

問 8

今後希望されるプレゼンの内容や、会のあり方についてご意見がありましたらお聞かせください。

- ・今のままでいいと思われます。本日の講演わかりやすく興味深いものでした。
- ・講演は1人20分程度が良いかと思ひます。→今後はタイマーなど設置して対応していきます。



アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。



院内 BBQ

IN i+Land nagasaki
H30.10.28

透析室 岩井 史龍

天気も良く、景色も良く、いい BBQ 日和でした。
他部署、多職種とも交流でき楽しかったです。
(お酒が飲めたらより楽しめたんですけど…)
来年の BBQ に期待です!



思いやりの心を大切に

顧問 若松 昭二

昨年4月から当病院にお世話になっています顧問の若松です。どうぞよろしくお願い致します。初めに私の経歴等について紹介いたします。

私は、昭和51年4月に長崎県警察官を拝命し、昨年3月、長崎県警察学長を最後に定年退職いたしました。拝命以来42年間の警察人生の中では、専ら交通警察を30年近くやっていて、犯人と対峙するテレビドラマの世界とはかなりかけ離れた仕事でありました。

交通警察ですから交通指導取締りや交通事故捜査、交通安全教育等が経験した大部分の仕事です。ですから、どちらかという善良な一般市民相手の仕事がほとんどでした。若い頃には白バイ隊で6年間勤務いたしました。(そうです足は短くても白バイは乗れるんです。)その時、イギリスでの1カ月の白バイ研修とその後のスペイン、スイス、フランスでの交通情勢視察に行かせてもらった事が一番の思い出となっています。

また、平成22年には交通機動隊の隊長も経験させていただき、反対意見を押し切り、若い隊員と一緒に白バイに乗車してパレードにも参加いたしました。とはいえ警察の仕事は、呼び出しや当直勤務、休日出勤、転勤と息つく暇が無い過酷な仕事であり、転勤は実に24箇所を数え福岡に2回、離島の壱岐に1回の転勤経験があります。警察人生の最後の約10年は、警察本部の所属長等や警察署長という管理運営的な仕事で、特に所属の課員、署員の非違事案(不祥事案)防止が大事な仕事の一つでした。そうした中で、日頃私が思い、訴えたのが「常に相手の立場を考え、思いやりの心を込めて接する」ということであり



ました。警察の仕事は千差万別で、関係者も多種多様で有り、悪意は無く何気なく言った言葉や行動が後で大きな波紋を呼び、苦情や批判となることがままあります。原因はいろいろあるかも知れませんが、究極のところ「思いやりの心」がないということか、相手の感情を満足させていないからであると思います。相手の心を捉え、感情を満足させるのは、ほんのちょっとした「思いやりの心」と「動作」ではないかと思っています。

警察の仕事と病院の仕事は全く異なる仕事ではありますが、住民と患者との差はあれ「思いやりの心を込めて接する」ということでは、同じではないかと思っています。

先日、窓口に中年の女性がやってきて「この間、救急車で〇〇病院に母を送ってもらい親切にいただきありがとうございました。」と言って受付窓口まで訪ねて来ました。その人の母親はその後亡くなられたそうですが、自分の母親と同じ年でとても他人事ではない気がして、よく覚えていました。そんな気持ちがこの女性にも通じたのか、わざわざお礼を言ってくれたのです。こんな気持ちが相手の心を捉え、感情を満足されるのだらうと思います。

「思いやりの心を大切に」をモットーに今後とも光晴会病院の一員として仕事に精励してまいりますので、どうかよろしくご指導お願いいたします。



医療安全

院内研修会を終えて 安全対策室 岩田 直美

全職員を対象とした医療安全院内研修会は毎年2回実施しており、そのうち1回は体験型研修を行うよう計画しています。体験型の研修内容は毎回複数の項目を企画し、全職員にとって有意義な研修となるよう取り組んでいます。今回は10月10日、11月20日の2日間を通して開催し、参加率は全体の99%でした。



【研修内容】

① アナフィラキシーショックの対応について

日本医療安全調査機構より「注射剤によるアナフィラキシーに係る死亡事例の分析」が取り上げられ、2018年1月に提言が出されました。その内容のポイントについて岡田病院長が講義したDVDを視聴しました。『過去に複数回、安全に使用できた薬剤を含め、あらゆる薬剤で致死的なアナフィラキシーショックを発症しうると認識することが重要』『アナフィラキシーを疑った場合は、ためらわずに（5分以内に）ボスミン0.3mgを大腿前外側部に筋肉内注射』など、あらためてアナフィラキシーショックの対応について理解を深めることができてよかった、という感想が多くありました。

② 静脈血栓塞栓症予防について

間欠的空気圧式ポンプ装着体験をしながら、静脈血栓塞栓症について学習しました。また、弾性ストッキングの履かせ方の体験も行いました。静脈血栓塞栓症は長い間ベッドに横たわっていたり、同じ姿勢をとり続けていると、足の深部の静脈内に血液の塊が発生し、血流を妨げて様々な悪影響を及ぼします。今回の体験を通し、学習を深めることで患者さんへの観察や説明がより充実したものになると期待しています。



③ 事務部門の医療安全について

『患者誤認防止』をテーマに医事課職員が企画し実施しました。受付と会計の場面での過去のインシデント経験を元にシナリオを作り、それを自分たちで再現して、受講者に患者確認の基本をあらためて考えてもらうという研修内容でした。今回、ひとつの部署が企画の段階から考案していくパターンは初めての試みでしたが、医事課が中心となり協力体制をもって取り組めており、受講者アンケート結果も好評でした。

④ 医療安全クイズ

例年、医療安全に関して職員の皆さんに周知してほしい事をクイズとして出題しています。

正解率の低い問題は継続して出題し、引き続き周知を図りたいと思います。



外来週間診療予定表

土曜日は基本、内科は休診ですが緊急のみ当番制で対応します

平成 30 年 12 月現在

	月	火	水	木	金	土	
内科	3 診	田浦直太 (消化器)	宮副由梨 (消化器)	吉岡正人 (一般内科)	宮副由梨 (消化器)	柴田雄一 (一般内科)	心療内科 (午前) 不定期休み
		福田康弘 (消化器)					
	4 診	宮崎健一 (腎臓・一般内科)	柴田龍二郎 (腎臓・一般内科)	福田康弘 (消化器)	大坪俊夫 (腎臓・膠原病)	柴田龍二郎 (腎臓・一般内科)	
	5 診	河野仁寿 (呼吸器)	森川伸雄 (呼吸器)	河野仁寿 (呼吸器)	森川伸雄 (呼吸器)	河野仁寿 (呼吸器)	
	6 診	和泉元衛 (甲状腺・肥満)	赤星 浩 (消化器)	柴田雄一 (一般内科)	赤星 浩 (消化器)	和泉元衛 (甲状腺・肥満)	和泉元衛 (甲状腺・肥満)
循環器内科	7 診	武野正義	石崎正彦	(再診のみ)	武野正義	石崎正彦	
心臓血管外科	8 診	(新患紹介) 蒲原啓司	(新患紹介) 迎 洋輔	(新患紹介) 迎 洋輔	(新患紹介) 古賀秀剛	蒲原啓司	古賀秀剛
泌尿器科	9 診	山下修史	堀 建夫	山下修史	大学医	大学医	緊急症例のみ
外科	10 診	岡田和也	岡田和也	大学医	進 誠也 (おなかのヘルニア(脱腸)専門外来)	進 誠也 (おなかのヘルニア(脱腸)専門外来)	隔週 岡田和也 田中史朗
	11 診	岸川博紀	甲 菰子	岸川博紀	岸川博紀	田中史朗	
				田中史朗	峯 由華	吉本浩 (形成外科)	
【午後】 14:00 ↓ 16:00	3 診			吉岡正人 (一般内科)	吉岡正人 (一般内科)		
	4 診		大坪俊夫 (CKD 専門)	宮崎健一 (CKD 専門)			
	8 診		第 1.3.5 週 13:00 ~ 15:00 古賀秀剛 (下肢静脈瘤専門)				
糖尿病センター 9:00 ~ 12:00	赤澤昭一 有森春香 フットケア	赤澤昭一 世羅康徳 フットケア	赤澤昭一 世羅康徳 フットケア	赤澤昭一 世羅康徳 フットケア	赤澤昭一 世羅康徳 フットケア	赤澤昭一 世羅康徳 フットケア	

※ 診 療 科 目：内科・外科・泌尿器科・循環器内科・心臓血管外科・消化器科・リウマチ科・リハビリテーション科・呼吸器科・腎臓内科・形成外科・肛門外科・糖尿病内科・麻酔科

※ 診療受付時間：午前 8：30 より 午前 11：30 まで ※ 予約制ですので、できるだけ予約をお願い致します。

光晴会病院 地域医療連携室 TEL 095-857-3563 (直通) FAX 0120-573-632 (直通)

(コミュニケーションマガジン) 編集委員

編集・発行責任者：岡田 和也

編集スタッフ：岩永 (地域医療連携室) 平尾 (クラーク課)

尾上 (医事課) 久保田 (南 4 階)

高崎 (南 5 階) 吉野 (臨床検査科)

医療法人 光晴会病院

〒 852-8053 長崎市葉山 1 丁目 3 番 12 号

TEL095-857-3533 FAX095-857-2572

<http://www.kouseikai.org/>